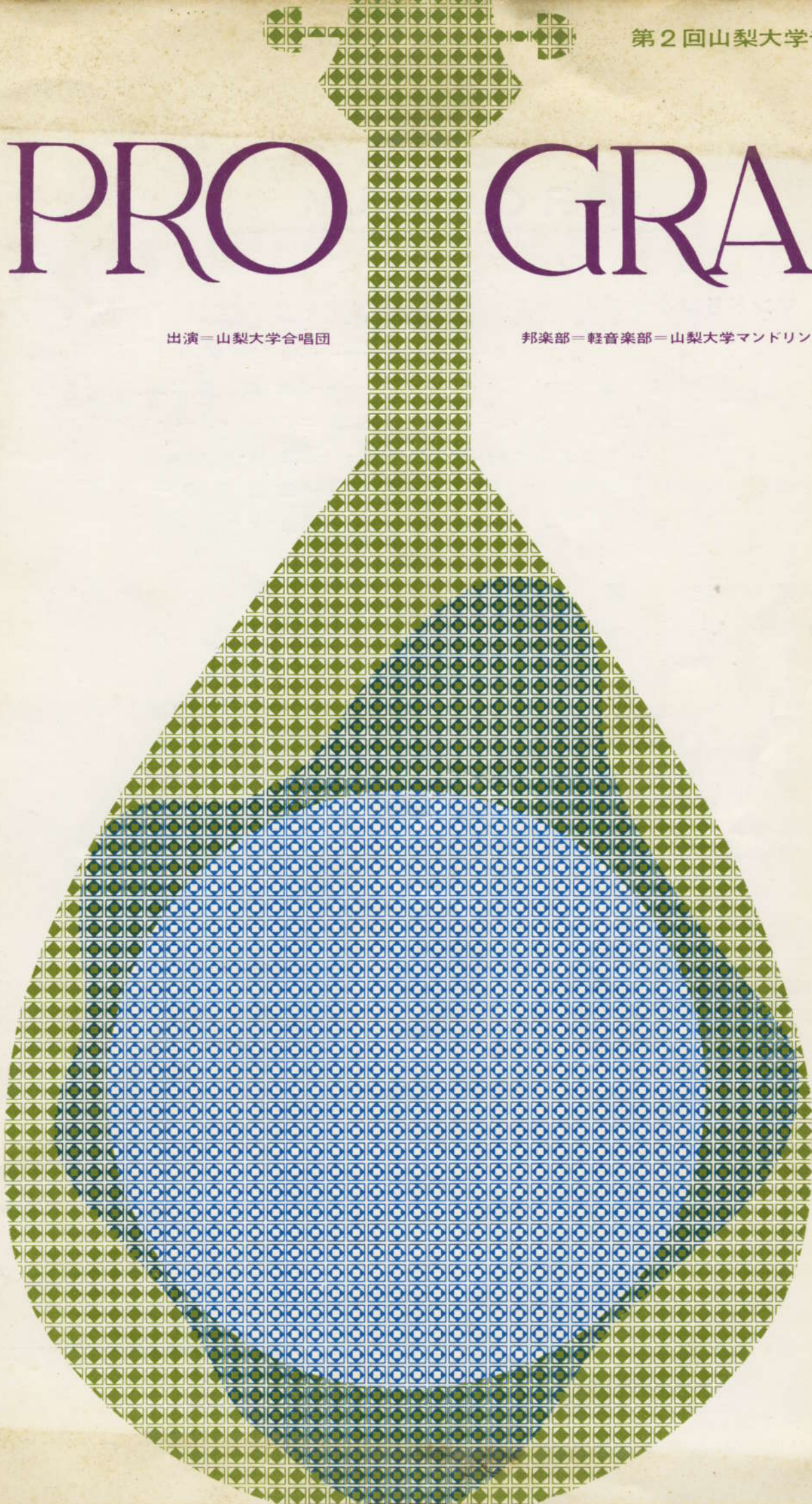


第2回山梨大学音楽会

PRO GRAM

出演＝山梨大学合唱団

邦楽部＝軽音楽部＝山梨大学マンドリンクラブ



PROGRAM

I マンドリンクラブ

山 嶽 詩	作曲 サルヴェッテ
荒 城 の 月	作曲 滝 廉太郎
夢 の タ ン ゴ	作曲 エドアール・ヴァン・マルデラン
ムーアのグラナダ	作曲 M・MGarcia
峠	作曲 鈴木 静一
ミ レ ー ナ	作曲 マチ ョ ッ キ

II 邦 楽 部

千 鳥 の 曲	吉 沢 検 校 作
鶴 の 巢 ご も り	普 大 寺 所 伝 作
花 園	宮 城 道 雄 作
三 段 の 調	久 本 玄 智 作
春 の 海	宮 城 道 雄 作

III 合唱団 マンドリンクラブ合同演奏

一 週 間 の う た	編曲 佐 藤 克 己
ぐ み の 木	編曲 佐 藤 克 己
泉 の ほ と り	編曲 佐 藤 克 己
モスクワ郊外の夕べ	編曲 佐 藤 克 己
カ リ ン カ	編曲 佐 藤 克 己

IV 軽 音 楽 部

ザ・パンサーズ

ギターブギ・スイムで行こう・虹の彼方に・シールドウィザアキス
ミザル・スターダスト・ビューズ・南国の夜

ハワイコールズ

ハワイアンマーチ・ホノルルムーン・ワッサマラユー・南国の夜
あきらめてはいるけれど・マウイチャイム

マンドリンクラブ

山 嶽 詩

サルヴェッテ作曲

山奥深く踏み入ると、突如として目の前が開けその静寂と神秘に感激する。
Corall の宗教的な旋律は自然の神秘と荘厳さをあらわし Allegro vivacissimo のはげしいテンポは驚異と力強さを表わしている。

夢 の タ ン ゴ

エドアール・ヴァン・マルデラン作曲

戦前から日本でも知られているなつかしのメロディー。
エドアール・ヴァン・マルデランの書いたフランスのタンゴである。
アメリカへ渡ってドリームタンゴの題で流行したのは1933年のこと、この後まもなく日本へも輸入されあらゆる人々に愛されました。そのメロディーの甘さ、美しさはいかにもフランスらしいムードの名曲です。マンドラのソロがロマンティックな夢を甘くやさしくうたいあげます。

荒 城 の 月

滝 廉太郎 作曲

みんなに親しまれ、誰でも知っている歌、Ist Mandolin Cadenza で始まります。途中でワルツのテンポに変わります。

ムーアのグラナダ

M. MGarcia 作曲

グラナダはスペイン東部の古い都市。付近にはギター曲で有名な「アルハンブラの思い出」のアルハンブラ宮殿があります。この曲は Ist Mandolin Cadenza で始まり Cadenza で終わります。情熱の国スペインの感じがよくでている曲です。じっくりお聞き下さい。

峠

鈴木 静一 作曲

静かな峠の山道。じっと耳をすましてごらん下さい。どこからかカッコーの鳴き声が聞えるではありませんか……………。

この曲は男性的なクラリネットと女性的なフルートがきそって演奏する軽快な曲です。

ミ レーナ

マチョッキ 作曲

マンドリンオリジナル曲の中でも有名なもので、作曲者マチョッキの傑作の一つです。この曲は美しいジプシーの娘「ミレーナ」の一生を描いたものといわれています。

部のあいさつ

クラブが結成されて四年、私達は演奏技術修得と豊かな人間形成を目指して絶やまない努力を重ねてまいりました。今年は部員数も110名にも達し、益々張り切っております。

今後もなお一層努力精進し、山梨県の文化向上に少しでも役立てばと思っております。今日は未熟ながら一生懸命演奏致しますので、ごゆっくりお楽しみ下さい。これからも私達のクラブに暖かい御声援をお願い申し上げます。

マンドリン、合唱合同演奏

— 五つのロシア民謡 (編曲 佐藤克己) —

I 一週間の歌

ダークダックスによる皆様おなじみの曲。
ちがった味をマンドリンと合唱でお送りします。

II ぐみの木

短調の曲で、日本の陰音階に似ているため非常に日本人に親しまれる旋律です。
道を隔て川の向こうに立つかしの木を、ぐみの木が思う歌。ソロを入れて3拍子のワルツを柔らかく歌い込みます。
ワルツに乗ってお聞き下さい。

III 泉のほとり

広く皆様に親しまれている明るい曲です。
青春を戦いに駆出され、延びた髭、延びた髪、それを魔法の水で流し、しばらく若者は陽気に歌いおどります。

IV モスクワ郊外の夕べ

窓に灯がともり 木影は紫 夕ぐれのひとつき
川藻に月の光 さざなみ崩れ 風に乗り渡り来る
やさしき君のうなじ まつげが震える 打ち明ける言葉なく
この道 この胸
短い夜の空に白さが漂う。そのモスクワ郊外の夕べに皆様をお誘いできます様、感じを込めて歌います。

V カリンカ

くり返しを使った長調の明るい曲です。
カリンカとは、花嫁さんという意味で、朝早く起き、朝露踏んで牛を追うロシアのすがすがしい朝の曲。
テンポに変化をつけておもしろく歌います。気軽にお聞き下さい。

☆佐藤 克己

梨大の前身である工専の機械科在学中、音楽部部長。卒業後JOKCの室内管弦楽に関係し、現在境川中学校教諭をしているかたわら、飯島国男先生(指揮をして下さる)らと共に県社会福祉教育に尽くしている。また主に器楽合奏の作曲、編曲で活躍中。

☆飯島 国男

昭和13年マンドリンの門に入る。昭和30年NHKオーディションに合格、現在比留間マンドリン研究会会員。
比留間マンドリンアンサンブル第一マンドリン奏者として又ラジオ、テレビ、レコード、映画音楽等に活躍中。

私達音楽サークルの長年の懸案でありました合同演奏が遂に実現し、今日ここで皆様にお目にかかれることを大変うれしく思っております。

今まで当市に於ては器楽と合唱の合同演奏という演奏形態はみられませんでした。その点においてもひろく県民の皆様方に新しい演奏形態の持つ音楽性並びに表現力を理解し味わっていただきたく思います。

そこで今回は初回ですので、演奏曲目には比較的演奏しやすく、また鑑賞しやすいロシア民謡をとり上げてみました。御存知でしょうか感情の起伏の激しい外国の歌の中でも特にそれが著じるしくて、私達日本人にも理解しやすいあのロシア民謡、

めっぼう楽しい“カリンカ”、“泉のほとり”があるかと思えば、何かを切々と胸に訴ったえる“ぐみの木”などに込められたロシア人のみでなく、どこの国にも、どの民族にも共通なこれらの感情を今日の演奏で豊に表現したく思っております。

最後になりましたが、当演奏の為に御尽力下さいました指揮者の飯島先生、編曲者の佐藤先生にこの場をかりて私達一同、心から御礼申し上げます。

合唱団副理事 石井 康 弘

御 挨拶

皆様、本日はようこそいらっしゃいました。

私達地方大学の学生の任務の一つとして山梨県の教育・文化の向上に寄与しなければならぬとの観点から、一昨年度、先輩達の手によって始められた音楽会も、この度第二回目を迎える事ができました事は、各サークル並びに関係者の並々ならぬ努力の賜物と思われまます。

さて、山梨大学の音楽サークルの発表会としましては、これまでも各サークル独自の音楽会として毎年行われてきていますが、今回は初めての試みとして、四つのサークルが一同に会する機会を利用して、異なったサークル同志による合同演奏の形も取り入れてみました。各サークルの熱心な練習の成果をゆっくりとお楽しみ下さい。

尚、この催しによる利益金は、山梨県のために少しでもお役にたてていただこうと思い、県福祉事業に寄附さしていただく事になっております。

最後にこの音楽会に御協力下さった皆様方に深く感謝の意を表します。

山梨大学学友会理事長 高野加寿夫

